

経営者のための人財育成通信

相手に届く表現力

vol.22

※人材を財産と捉える意図により「人財」と表記しています。

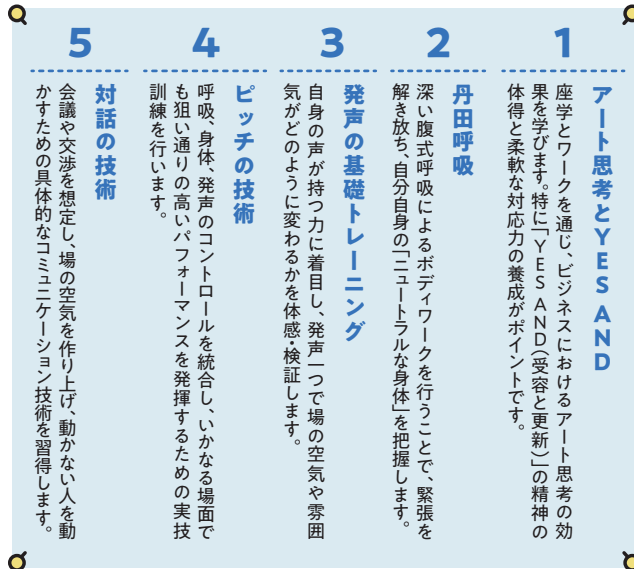
■演劇に学ぶ、ビジネスリーダーのための「プレゼンスと表現力」

私は、劇場「THEATRE E9 KYOTO」を経営しながら、劇作家・演出家として活動しています。これまで俳優やダンサーといった表現者のみならず、小さなお子様から人間国宝まで、さまざまな背景を持つ方々と創作を共にしてきました。近年では、年に1〜2本のペースでビジネスパーソンとの創作プロジェクトも手掛けています。

演劇とは、特別な道具を必要とせず、ただ「体一つ」あれば成立する、あらゆる人に開かれた表現の形です。この演劇の技術を、現代のビジネスシーンにおける課題解決に役立てたいと考えています。

プロジェクトを牽引するリーダーや、人前で話す機会が多い方こそ、「プレゼンス(存在感)と表現力」が求められます。「大勢の前で話す」と緊張してしまい、本来の自分を出せない、「チームを引っ張りたいが、自分の熱量が周囲に伝わらない」「印象に残る存在になりたい」といった切実な課題には、精神論ではなく、「演技の技術」という具体的かつ再現性のある手法でのアプローチが効果的です。話し方のスキル研修を受けても、実際の現場で上手く機能しないと感じている方にとって、身体感覚を伴うスキル習得は大きな転換点となるはずですよ。

スキル習得の具体的なステップは次の5段階で構成されます。



あなたの内なる表現力を引き出し、確かな存在感を放つリーダーへの第一歩として、俳優の技術や、演出家の目線と思考法を参考にしてみたいいかがでしょうか。

文/アーツシード京都代表理事 あごうさとし氏

公開セミナー

「演劇技法を用いた“プレゼンスと表現力”の実践講座」(8月27日)

～「伝える」から全身を使って「伝わる」存在になろう！～

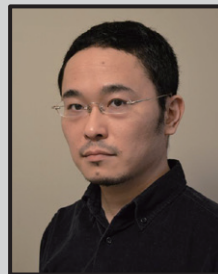
研修目的

- ・自身の存在感(プレゼンス)を確認し、自らを操作する
- ・いつでも高いパフォーマンスを発揮できる技術を養う
- ・人を動かす・場を作る・空気をかえる技術を習得する

お申込み



講師 アーツシード京都 代表理事
THEATRE E9 KYOTO 芸術監督
あごうさとし氏



今回は
論理的な文章作成
をご紹介します

京都商工会議所では人の採用・育成・定着に関するご相談や、各社の経営課題に寄り添った研修プランのご提案を行っております。ぜひご利用ください。

【お問い合わせ】 会員部 人材育成課(京商ビジネススクール事務局)
☎ 075-341-9762 ✉ jinzai@kyo.or.jp <https://www.kyo.or.jp/jinzai/>

